

Only One

ファーム とみなが

もともと小学校の先生だった富永順次郎さん。
稲城市市議会議員などを経て、その後、本格的に農業に
従事されました。

広い農園では、梅やじゃがいも、なす、ピーマン、栗、銀杏、
さといもなどを収穫し直売所で販売しています。新規就農
のため、王道の野菜だけではなく、他の農家さんとは
違う珍しい野菜や果実なども作っていらっしゃいます。



富永順次郎さん



たまたばこ

多摩地域の魅力を訪ねる健康さんぽ

文責：編集部

取材協力・写真提供（一部）：富永順次郎さん



vol.29 稲城市



「花オクラ（トロアオイ）」
を盛りつけたサラダ



「ポポーの実」
バナナとマンゴーを
合わせたような味です。

「マー坊なす」
珍しい細長いなす



「子どもピーマン」
苦みが少なく、
ピーマンが苦手な子どもでも
食べられます。

袋づめは
奥様の担当。



その野菜の特徴や
調理方法などを表示して
販売しています。

落ちた銀杏などを狙って
タヌキも出没します。



毎年、年末には、かつて教壇に立っていた
文教大学付属小学校の子どもたちや、地域の
子どもたちに、自然の素材を使った、お正月
玄關飾りの作り方を教えていらっしゃいます。
「お米がなって、藁ができて、その藁を使っ
てこうして循環しているんだよ」ということ
から教えます。

子どもたちは、目を輝かせながら、藁の結び方
や縛るときの音など、いろいろなことを学習しながら完成させます。
そこは、やっぱり元先生。「伝えることが楽しい」と、富永さんの目
もキラキラしていました。



程よく都会で程よく田舎 稲城市

かさやと
上谷戸親水公園

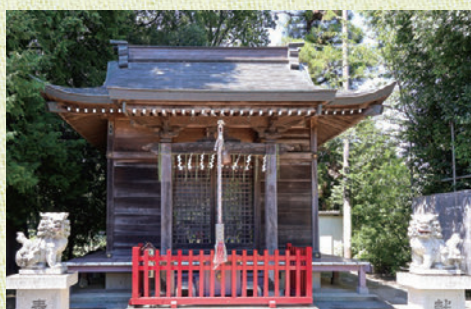


稲城市は、多摩地域の南部に位置し、新宿からわずか30分ほどで里山の雰囲気も感じられる街です。江戸時代から梨の生産が行われており、市内には多くの梨農園や直売所などが点在しています。梨以外にもブドウやブルーベリーなどフルーツ栽培が盛んです。

こもれびの散歩道

豎神社

創建時期は定かではないが、昔、この地に落雷が多く大雷神を祀ったといわれています。



宝蔵院

幕末には寺子屋が開校され、明治時代には小学校の校舎としても使われていました。稲城の教育に大きく貢献した寺院です。



上谷戸緑地体験学習館 水車小屋

昔ながらの景観を保存・復元し、自然観察や水遊びもできる親水公園です。6月頃には地域の方々が育てたホタルを鑑賞できます。

ホタルの里かさやと



若葉台公園

春には色とりどりの花が植えられ、カラフルになります。バーベキューを楽しめるピクニック広場や、サッカー、野球ができる多目的広場、テニスコートなどもあり、休日には多くの人で賑わっています。



今回は、京王相模原線稲城駅から若葉台駅までを散策してみました。

稲城市役所や稲城市観光協会のホームページには、市内を散策するモデルコースのマップなどがたくさん掲載されています。あなたに合ったコースを見つけて、秋を探しに歩いてみませんか。



MAP

